

「弁当給食」鎌倉で成功

横浜市会議員 こんの典人

高い喫食率につながった
と言えます。

原則ハマ弁給食

現在の「ハマ弁」は、

令和2年度まで業者との契約があり、喫食率目標を20%としています。したがって、次期以降は、方式はハマ弁としながらも「原則給食（ハマ弁給食）」とし、安心して利用できる仕組みも検討すべきと考えます。

横浜の「ハマ弁」は3・5%、鎌倉では83%。これは、横浜市と鎌倉市の市立中学校における配達型弁当の喫食率です。どちらも同じ業者がお弁当を作り中学校に配達しているものです。

同じ方式なのに低迷

鎌倉市立中学校では、2017年度から中学校で配達弁当方式の「デリバリー給食」をスタートさせ、本年4月、5月の喫食率は83%でした。一方、横浜市では、16年から段階的に配達弁当（ハマ弁）を導入したものの当初は1%程度、本年5月でも3・5%と利用が低迷しています。

「原則給食」がカギか

実際に「ハマ弁」も「デリバリー給食」も食べても大きな差は感

「原則給食」がカギか
実際に「ハマ弁」も「デリバリー給食」も食べても大きな差は感

針でも大きな差は感
針でスタートしたことが

立憲・国民フォーラム
こんの典人事務所

緑区鴨居3-1-14-105

☎045-929-3030

FAX 045-342-4330

✉ konno@konno-norito.com

http://konno-norito.com/

市民相談を受け付けています。お気軽にご連絡下さい。